



2025年3月期上半期

決算説明会資料

 **かどや製油株式会社**

2024年11月8日

1

2025年3月期 上半期実績

執行役員 管理本部長 高野 純平

2

2025年3月期 通期予想／事業戦略

取締役 執行役員 経営企画部長 北川 淳一

1

2025年3月期 上半期実績

執行役員 管理本部長 高野 純平

2

2025年3月期 通期予想／事業戦略

取締役 執行役員 経営企画部長 北川 淳一

2025年3月期 上半期実績

7月上旬頃に1ドル=160円に達する等、円安が進行し、原料コストが増加。
これを、適正価格の浸透と好調な北米向け取引で補い、営業利益・当期純利益共に略前年同期比並を確保。

	(百万円)	2024年3月期	2025年3月期		(ご参考) 2024年5月発表予想比		
		上半期実績	上半期実績	前年同期比	上半期予想*	予想比	
連結業績	売上高	18,019	19,669	+1,650	+9.1%	20,000	▲331
	営業利益	1,979	2,009	+30	+1.5%	1,800	+209
	営業利益率	11.0%	10.2%	-	▲0.8%	-	-
	経常利益	2,182	2,064	▲118	▲5.4%	1,800	+264
	経常利益率	12.1%	10.5%	-	▲1.6%	-	-
	当期純利益	1,457	1,402	▲54	▲3.7%	1,250	+152
	当期純利益率	8.1%	7.1%	-	▲1.0%	-	-

*1ドル=145円前提で策定

セグメント別概況 1/2 ごま油事業の概況

国内：競争激化により販売数量は減少したが、売上高は前年同期比増。

輸出：販売数量を減らすことなく適正価格の浸透を進め、売上高は前年同期比+17.4%を達成。

全体：営業利益は昨年同期並みを確保。

	(トン/百万円)	2024年3月期上半期		2025年3月期上半期		前年同期比			
		数量	売上高	数量	売上高	数量	数量	売上高	売上高
国内	家庭用	4,758	5,349	4,617	5,745	▲140	▲2.9%	+395	+7.4%
	業務用	6,580	4,578	6,205	5,081	▲375	▲5.7%	+502	+11.0%
海外	輸出用	3,111	3,326	3,120	3,905	+8	+0.2%	+578	+17.4%

	(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
		上半期	上半期		
合計	営業利益	1,720	1,719	▲0	▲0.0%
	営業利益率	12.3%	11.2%	-	▲1.1%

セグメント別概況 2/2 食品ごま事業の概況（連結）

家庭用向け製品構成の見直しを進めたことや加工食品メーカー／外食向け「ねりごま」製品が健闘したことにより、営業利益は前年同期比17%増となる2.6億円。

(トン/百万円)	2024年3月期上半期		2025年3月期上半期		前年同期比			
	数量	売上高	数量	売上高	数量	数量	売上高	売上高
連結	6,229	3,960	6,004	4,232	▲224	▲3.6%	+271	+6.9%

	(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
		上半期	上半期		
連結	営業利益	223	260	+37	+16.8%
連結	営業利益率	5.6%	6.2%	-	+0.5%

1

2025年3月期 上半期実績

執行役員 管理本部長 高野 純平

2

2025年3月期 通期予想／事業戦略

取締役 執行役員 経営企画部長 北川 淳一

通期（2024年4月～2025年3月）業績見通し

通期業績見通しは、2024年5月14日公表値より変更なし。

期初予想を上回る円安により原料コスト増が見込まれるが、当社プレゼンス拡大に向けたマーケティング投資は期初計画通りに実行する。

単位：百万円	24年3月期		25年3月期		
	実績	構成率	計画	構成率	増減率
売上高	35,680	100%	38,500	100%	7.9%
売上原価	25,899	72.6%	28,700	74.5%	10.8%
売上総利益	9,781	27.4%	9,800	25.5%	0.2%
販管費（広告宣伝費含む）	6,664	18.7%	7,300	19.0%	9.5%
営業利益	3,117	8.7%	2,500	6.5%	▲19.8%
経常利益	3,409	9.6%	2,600	6.8%	▲23.7%
当期純利益	2,255	6.3%	2,000	5.2%	▲11.3%

中経達成に向けた取り組み状況1/4 ～新・経営管理システムの構築～

ログラス社が提供する伴走型サービスを導入し、データドリブンな新・経営管理システムの構築を開始。

株式会社ログラス 会社概要



会社名 株式会社ログラス
設立 2019年5月30日
代表 布川 友也
従業員数 171名 (2024年9月現在 正社員・インターン・アルバイト合計)
所在地 〒108-0073
東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル9階
許認可 ISO/IEC 27001:2013 & JIS Q 27001:2014



ログラスの課題解決コンセプト

データとAIの力で、経営のCLEAR BOXを増やす

現状

- 表計算ファイルにデータが散在。意思決定に必要な情報が不足
- AI導入を先導する組織・人材が不足。データ分析は人頼み



出所 : <https://speakerdeck.com/loglass2019/whats-loglass?slide=17>

出所 : <https://ascii.jp/elem/000/004/213/4213226/#eid3773755>

本年8月に袖ヶ浦工場内にラボを開設。

ごま油が有する「独特の香り」が持つメカニズムの数値化や、搾り粕に含まれる良質なタンパクの抽出等に研究テーマを設定、将来の新商品・新市場の開発に向けた体制を着々と構築。

領域

主たる研究テーマ

ごま油

- 風味/鮮度の維持
- 香味メカニズムの数値化
⇒ 海外市場を含めたフードマッチング提案や新たなごま油の開発

アップサイクル

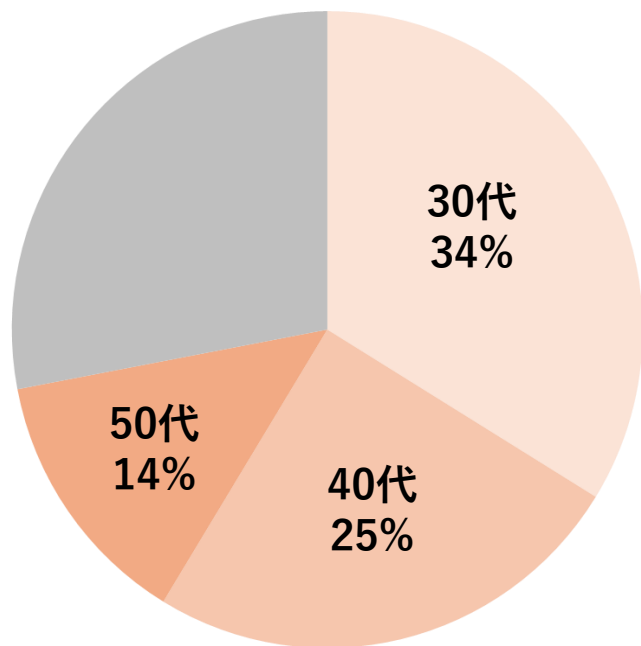
- 脱脂ごまから抽出したタンパク質を利用した新商品の開発
- ごま由来の成分を利用した新商品の開発
- ゴマリグナン類の基礎研究



写真：新設した袖ヶ浦ラボで研究する様子

2024年度下期は、本年8月に広告電通賞・金賞を受賞した2本の動画を集中的に配信。
市場におけるプレゼンスを高め、主要顧客である30代～50代の女性にフォーカスし、
さらなる当社商品への愛着醸成と継続購入を促す。

当社コミュニティサイト（1万5千人）会員属性
【女性】



出所：ごまラボ（当社コミュニティサイト） 2024年9月末実時点の会員属性



一流シェフによる「ごまの実オイル」のタイアップ企画を実施、食に関心が高い「料理王国」の購読者・視聴者約36万人へ配信。併せて、本年度当社主力工場がある小豆島の休耕地を活用し、行政・農家と連携しごまの栽培を開始。栽培したごまを使用したメニューを考案し公開する。

ごまの実オイル企画



料理動画 ※イメージ



紙面広告 ※イメージ



料理王国（雑誌）

地域との協働



小豆島でのごま栽培（6月撮影）



行政・農家・当社（5月撮影）

拡大傾向にある米国ごま油市場の掘り起こしとして、現地での委託充填品の販売が増加傾向。
また、中長期の取組として、現地でのニーズ・多様な食文化に合わせたレシピの開発、発信を強化。

短期的取組
(現地委託充填による販路の拡大)

- ・米国での委託充填を開始し、着実に進捗。
現地での充填により、柔軟な対応が可能となり、新規取引の機会を創出しつつある。

中期的取組
(レシピの開発・啓蒙による需要創出)

- ・米国最大手の食用油脂製品の製造販売会社とのレシピ共同開発に着手
⇒ソース・ドレッシング・ディップなど、米国での新たなごま油需要を創出をもくろむ
- ・米国で著名なインフルエンサーとのレシピ動画作成・配信に着手

長期的取組
(西洋料理へのごま油活用定着)

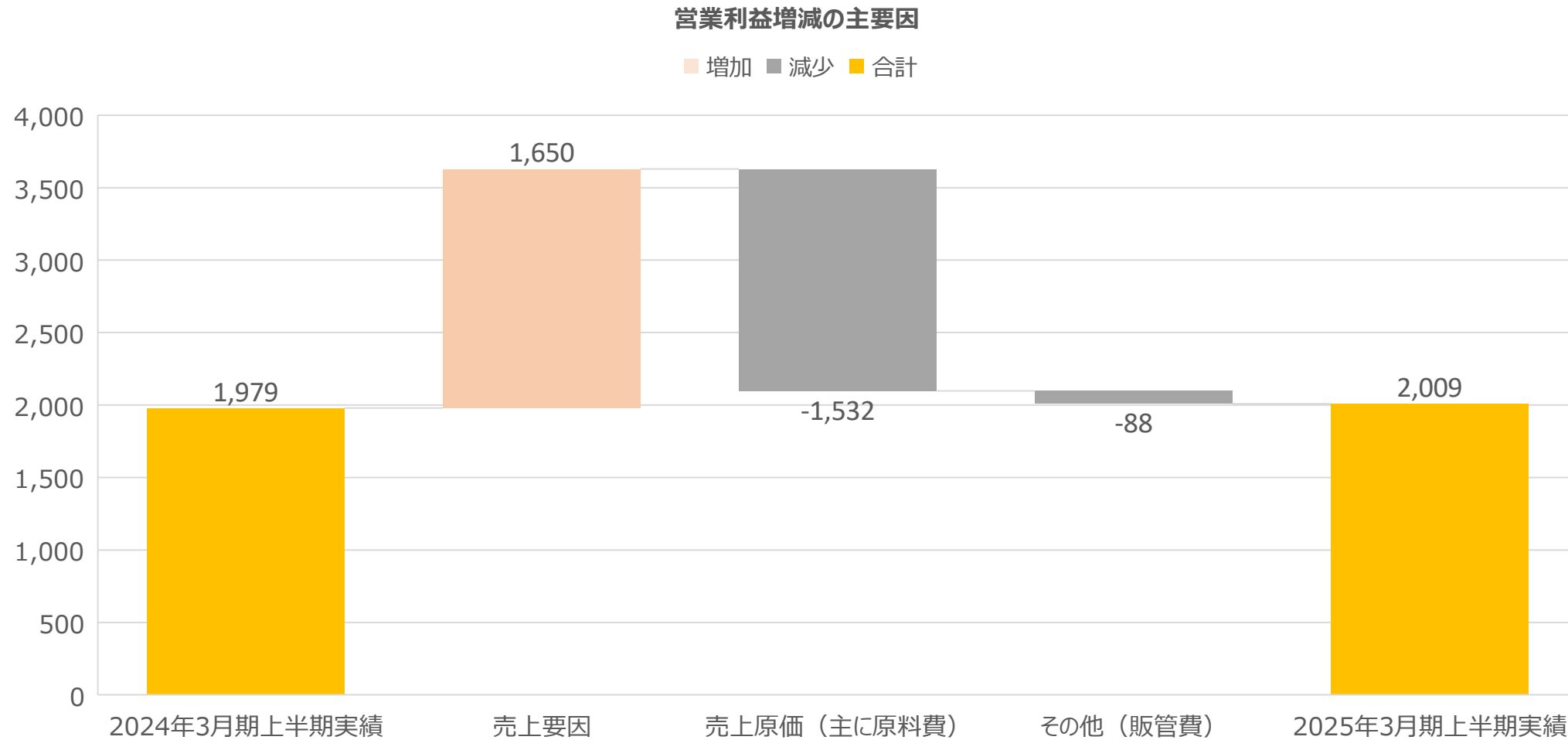
- ・米国大手料理学校との具体的な連携策を協議中
⇒シェフを養成する料理学校に協賛、ごま油活用シーンの拡大・定着を図る

補足資料



営業利益増減の主要因 (2024年3月期上半期比)

単位：百万円



増減要因補足：・売上増加による要因 +1,650 ・売上原価（主に原材料費の上昇）▲1,532 ・その他販管費（人件費含む）▲88

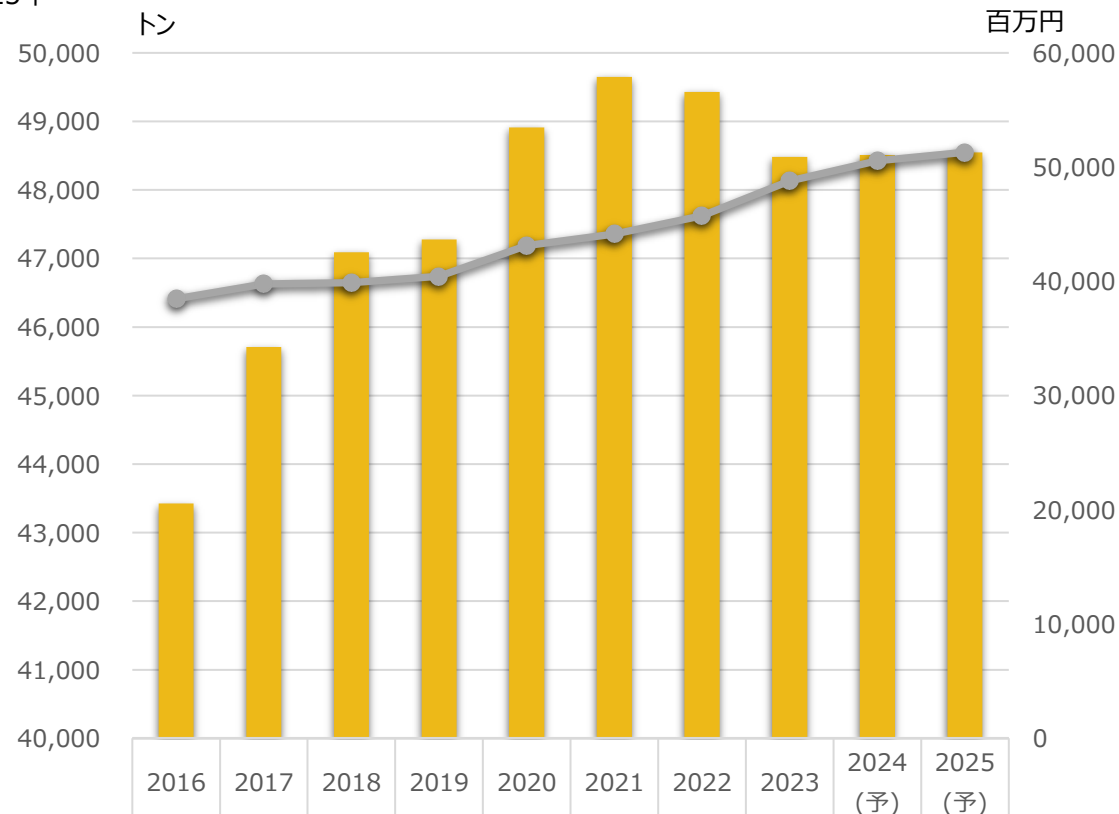
ごま油市場と当社の動向 (市場)

国内：原料高等によりピーク時と比較し、数量は減少も販売金額はコロナ下含め増加傾向

米国：米国ごま油市場は拡大傾向

国内ごま油市場推移

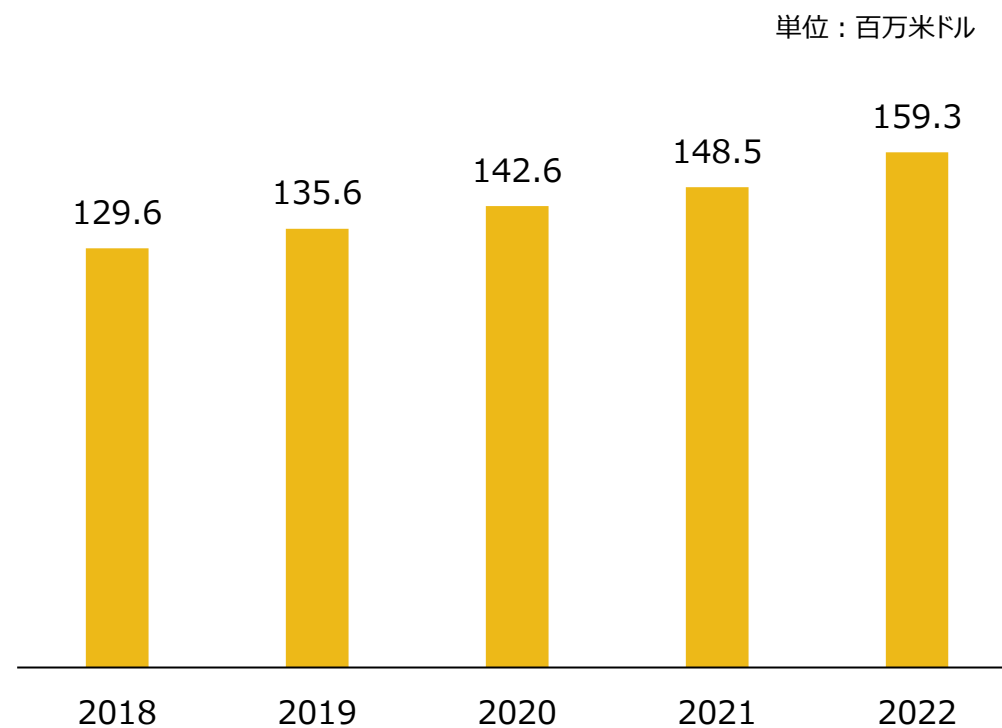
2016年～2025年



当社調べ

米国ごま油市場推移

2018年～2022年



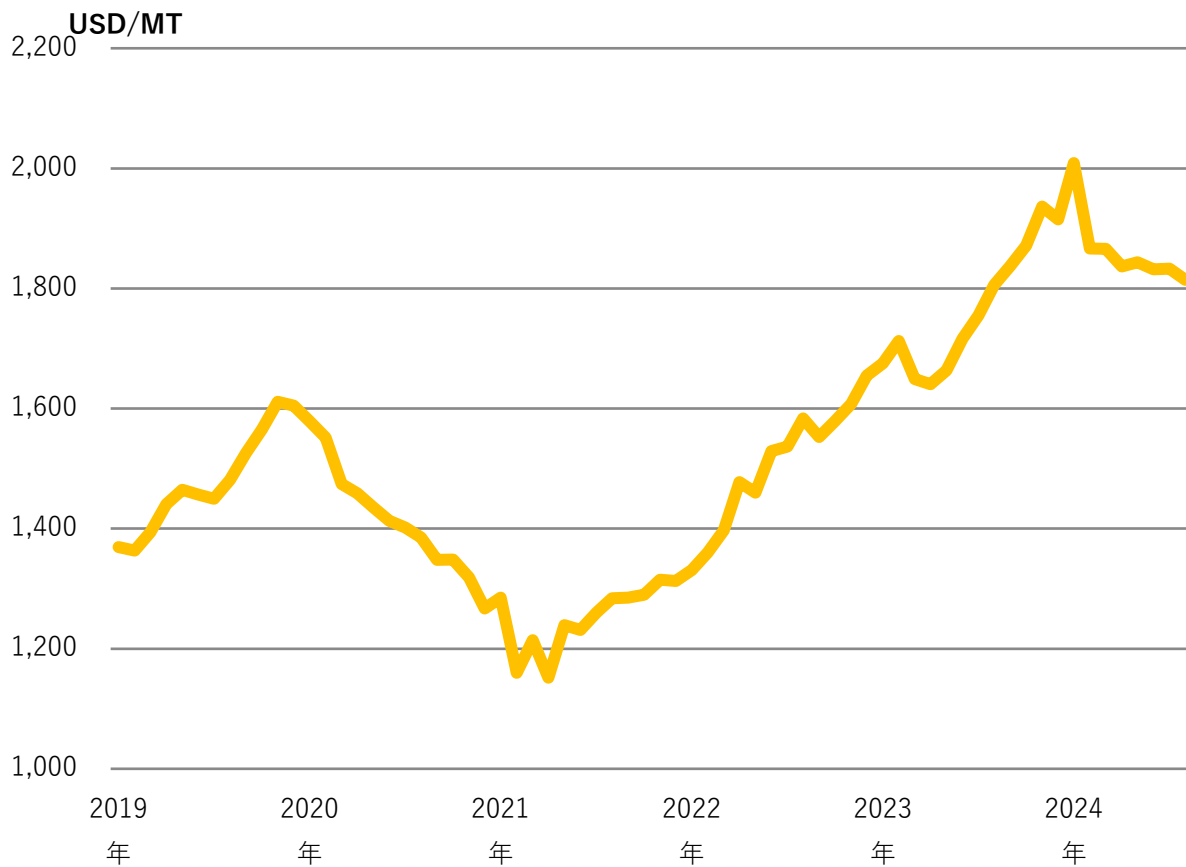
出所：Persistence Market Research

原料市況

- 好調な西アフリカの播種見込みに加え、アフリカ以外の新興産地における生産期待感から、2024年6月以降、相場は軟化傾向。他方、為替相場は円安水準にあり、原料状況は予断を許さない状況である。
- 世界最大の需要国（輸入国）である中国について、2024年1～8月の輸入量は73万トン（前年同期比32%増）となり、落ち込んでいた前年から増加し、2024年は再び100万トンを超える勢いとなり、今後相場への影響が懸念される。

搾油用原料ごま（Any5）価格推移（通関統計）

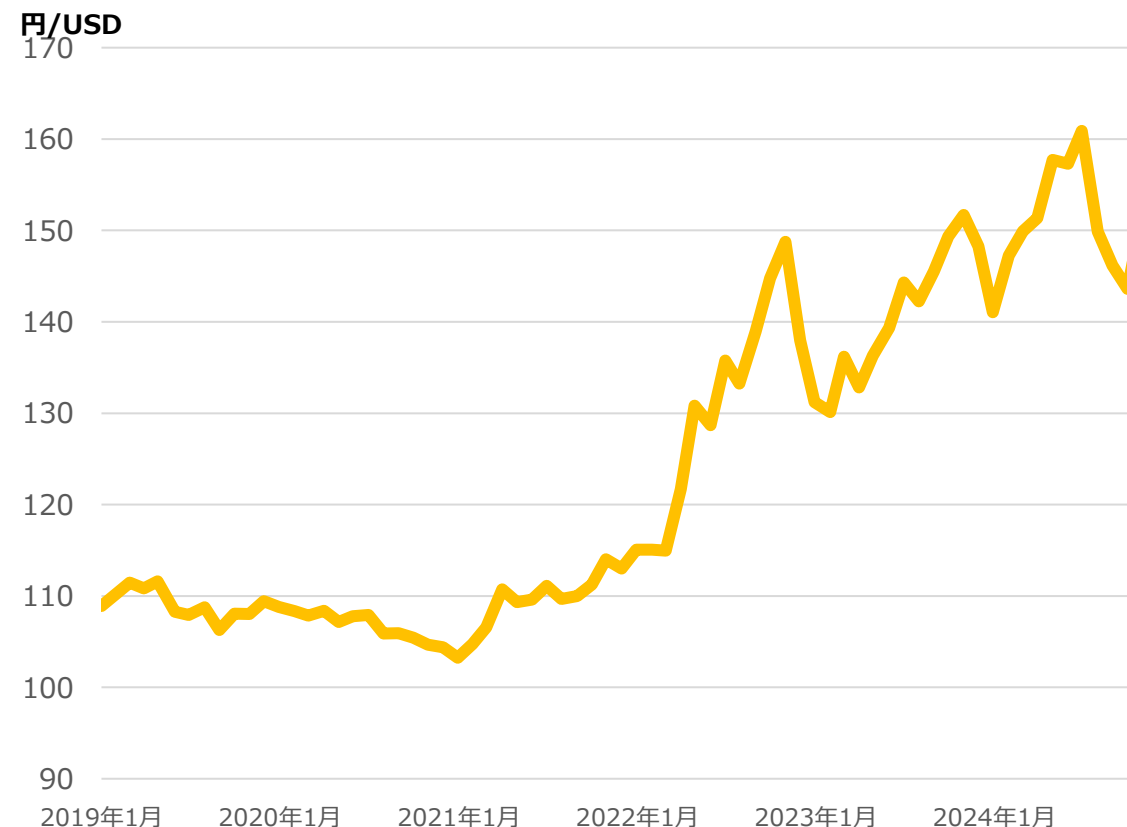
2019年～2024年



出所：財務省輸入通関統計

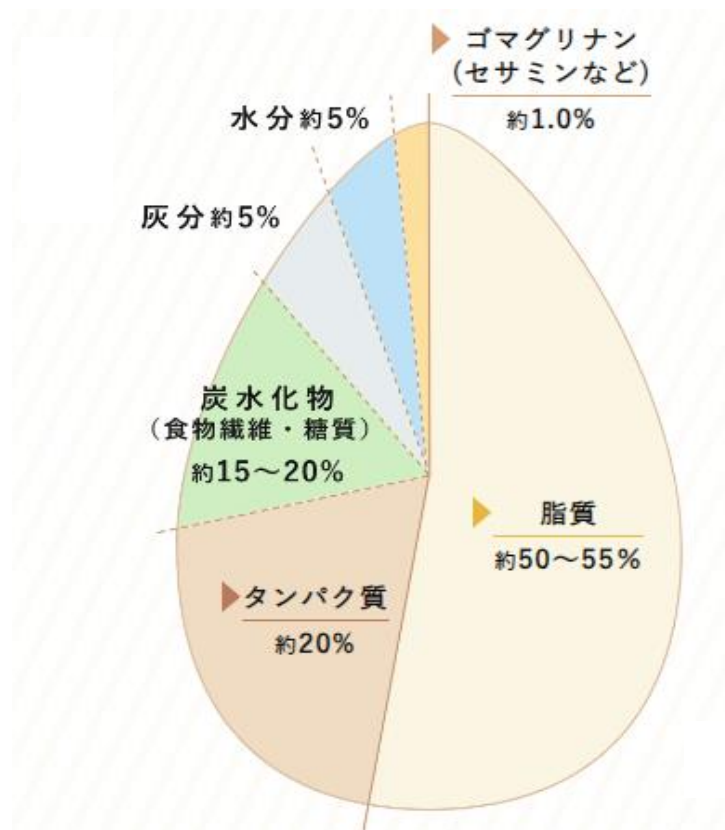
円ドル為替レート推移（月足）

2019年1月～2024年10月



当社調べ

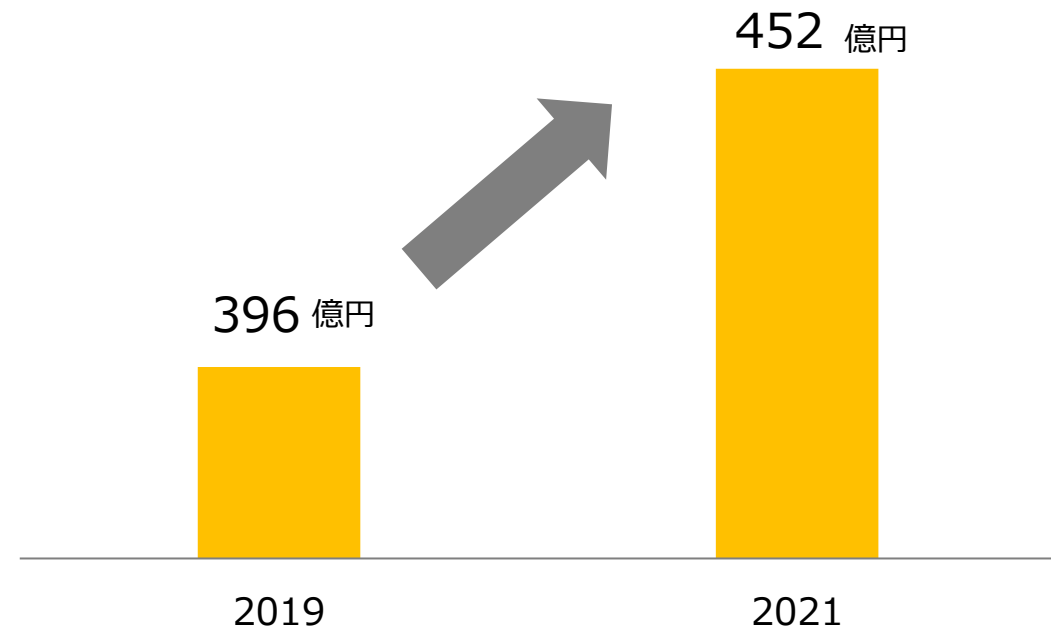
ゴマに含まれる栄養



出所：日本食品標準成分表（八訂）より作成

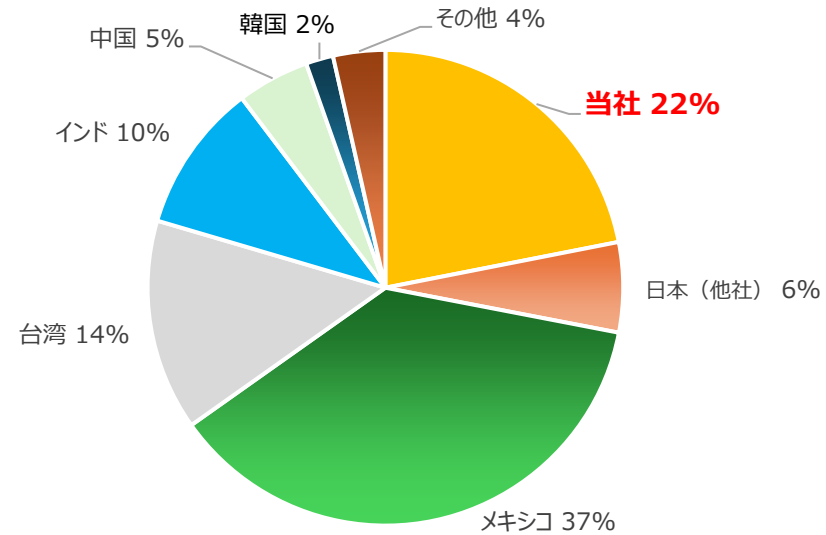
植物性たんぱく素材の需要は増加傾向

国内植物性たんぱく素材市場規模の推移



出所：TPCビブリアリック <https://www.tpc-osaka.com/c/food/mr110210570>

米国ごま油市場全体における当社のシェア*



出所：Global Trade Atlasをもとに当社作成
(2023年1月～12月分データ)

*当社が認識する限り米国にはごま油製造メーカーは略存在しておらず、市場は日本・メキシコ・台湾等からの輸入品で構成されております。

過去5年分の要約財務諸表

		(百万円)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
連 結 P / L	売上高		33,781	31,371	32,185	33,690	35,680
	売上総利益		13,066	9,147	10,163	9,712	9,781
	売上総利益率		38.6%	29.1%	31.5%	28.8%	27.4%
	営業利益		3,255	3,021	3,450	2,914	3,117
	売上営業利益率		9.6%	9.6%	10.7%	8.6%	8.7%
	経常利益		3,462	3,135	3,968	3,229	3,409
	親会社株主に帰属する当期純利益		2,552	2,101	2,769	2,219	2,255
	EPS		277.47	228.43	301.00	241.19	245.13
	1株当たりの配当(円/株)		110	85	110	100	100
	ROE		9.4%	7.4%	9.2%	6.9%	6.7%
連 結 B / S	流動資産		20,555	19,789	23,705	26,091	28,206
	固定資産		14,698	13,510	12,760	12,006	10,992
	無形固定資産		418	396	348	229	141
	投資その他の資産合計		2,683	2,616	2,546	3,163	3,330
	資産合計		38,355	36,314	39,361	41,490	42,671
	流動負債		8,272	5,166	6,148	6,603	6,071
	固定負債		2,042	2,047	2,061	2,155	2,244
	負債合計		10,315	7,213	8,210	8,759	8,316
	株主資本合計		27,197	28,288	30,277	31,494	32,832
	評価・換算差額等合計		842	812	873	1,236	1,522
	純資産合計		28,039	29,100	31,150	32,731	34,354
	負債純資産合計		38,355	36,314	39,361	41,490	42,671
連 結 C / F	税金等調整前当期純利益		3,461	3,113	3,950	3,221	3,406
	減価償却費		1,123	1,840	1,599	1,512	1,301
	営業活動によるキャッシュ・フロー		1,682	2,715	4,542	2,460	2,972
	投資活動によるキャッシュ・フロー		▲4,227	▲846	▲473	▲720	▲239
	財務活動によるキャッシュ・フロー		893	▲3,011	▲781	▲1,002	▲922
	現金及び現金同等物の期末残高		3,989	2,846	6,133	6,871	8,681

かどや製油株式会社